

未来のサステナブルな消費者を育てる食育

一般社団法人サステナブルフードチェーン協議会

■「こどもスマイリング・プロジェクト」の概要

子ども食堂に通う子どもたちに『職業体験型食育プログラム』の提供を通じて、買い物を通じたエシカルな消費や食品ロス削減などを学んでもらうと同時に、「食」×「職」を楽しむ、「生命をいただく」という食材を食べることの大切さも体験してもらう。子ども達の「食育教育」の機会の提供、休み期間中の子どもたちの「食」を救済するイベントなどを開催している。また、リアルな体験機会を通じて、食や家庭に課題を持つ子どもたちと子ども食堂の方に、食品産業が余剰食品の情報を伝えられるように、コミュニケーションを取れる情報ネットワークを構築している。

- 1) エシカル消費を学ぶ職業体験型食育プログラムを作成(DeepPeople監修)
- 2) 作成したプログラムを元に、会員企業と自治体、こども福祉団体の協力のもと、食品ロス削減を含むエシカル消費学習プログラムを実施するイベントを開催
- 3) イベントなどの取組を通じ、自治体内商工会議所所属企業や子ども食堂ネットワークとの対話の機会を創出する。「食育」をきっかけに子ども支援を行うため、幅広いステークホルダー間の連携のきっかけとなるようなプラットフォーム(HPなど)を開設し、普及・啓発活動の実施

※2020年度消費者庁「令和2年度地方消費者行政モデル事業」採択事業

※2021年度日本財団助成事業

■具体的な取組 子どもたちの「食育」教育機会の提供

「こどもエシカルフードマスター講座」 令和2年9月22日開催

国分グループ本社株式会社、株式会社セブン-イレブン・ジャパン協力のもと、店頭で食品が並ぶまでの流れや、自分の体によい食品を選ぶ「賢い食品の選び方」講座、管理栄養士によるコンビニで買った食品を使った簡単おいしいスマイルレシピ紹介、コンビニエンスストアでのエシカル消費や環境配慮について学び、食品を食品ロスにしないよう買ってもらうためのエシカル消費チャレンジなどを体験してもらった。

★参加者：大阪市浪速区子ども食堂チェリー保育園児・小・中学生17名
引率者約15名+見学者約10名



こどもスマイリング・プロジェクト



所在地：東京都千代田区

フードサプライチェーン全体で食品ロス削減を中心とする課題解決等により、フードサプライチェーンの持続性を目指す食品産業事業者と有識者のネットワーキングの場を提供。企業や研究者らの知見を広く共有し、民間主導で有機的に各主体が繋がるネットワーキングや実証の場として、2019年にコンソーシアムを立ち上げた。

子どもたちの心と体の成長に必要な『食』や食に関わる『職』などの経験を届け、食品企業の様々な取組への理解と地域への貢献を通じた持続可能な社会を目指す仕組みの構築を目指し、こうした支援の輪を広げる活動等を推進している。

